



# 第100回 仏教文化講座

堯猷上人と

近代仏教の展開

2026

8/1 (土) → 5 (水)

午前9時～正午迄

但し、初日は9時30分より開講式  
最終日は11時より閉講式

会場

高田会館ホール(高田本山)

僧侶の方は布袍・輪袈裟を着用ください



8/1 (土)

ときわ い じしゅう  
常磐井 慈祥法主

びょうゆう  
堯猷上人の生涯と事蹟

8/2 (日)

さいとう あきら  
齋藤 明先生

国際仏教学大学院大学特任教授  
東京大学名誉教授

観音と観自在  
— 堯猷上人による開講百年を記念して —

8/3 (月)

のむら とおる  
野村 亨先生

慶應義塾大学名誉教授(総合政策学部)  
国際文化研究所元所長

東南アジア仏教の諸相  
— 上座部仏教と密教 —

8/4 (火)

おおみ としひろ  
碧海 寿広先生

武蔵野大学教授

西洋の仏教との出会い  
— 高楠順次郎と常磐井堯猷

8/5 (水)

くり はら こうかい  
栗原 廣海先生

真宗高田派 栗昌山 誓元寺住職  
真宗高田派 鑑学  
高田短期大学名誉教授

仏教文化講座  
100年の歴史と今後の展望



第100回記念  
仏教文化講座  
特別展観  
2026.  
7.24 FRI  
9.27 SUN  
専修寺宝物館  
燈炬殿



真宗高田派本山 専修寺

三重県津市一身田町2819 ☎(059)232-4171  
<http://www.senjuji.or.jp/> 高田本山 検索

YouTuberにてライブ配信中

専修寺HP右上の YouTube マークから  
YouTube高田派専修寺に入れます



## 8/1 (土) 常磐井 慈祥法主

### 堯猷上人の生涯と事蹟



8/2 (日)

齋藤 明先生

国際仏教学大学院大学特任教授  
東京大学名誉教授



### 観音と観自在

—堯猷上人による開講百年を記念して—

観音は仏教が広まったおよそすべての国や地域で受容され、信仰されている菩薩である。法華経(観音経)、無量寿経、華嚴経、般若心経、および多くの密教経典をとおして、観音、観世音、観自在等の名で親しまれてきた。本講演では、百年前に真宗高田派に仏教文化講座を開講された常磐井堯猷上人のインド学者としての多大な貢献に目を向けながら、インドに生まれ、ひろくアジア全域において受容されてきた観音と観自在の関係とその背景を再考したい。

8/3 (月)

野村 亨先生

慶應義塾大学名誉教授 (総合政策学部)  
国際文化研究所元所長



### 東南アジア仏教の諸相

—上座部仏教と密教—

今日、タイ、ミャンマー(ビルマ)など東南アジア諸国に流布している仏教は釈尊の時代の原始仏教により近い姿を色濃く留めている上座部仏教であり、中国経由で我が国に伝来した大乘仏教とはかなり異なった様相を呈している。また今日ではイスラム教徒が人口の過半数を占めているインドネシアのジャワ、スマトラ等の地域にはかつて密教が広く流布していた時代があった。今回はわが国では比較的なじみの薄い上座部および密教について紹介してみたい。併せて高田本山と野村家の浅からぬ仏縁についても紹介してみたい。

8/4 (火)

碧海 寿広先生

武蔵野大学教授



### 西洋の仏教との出会い

—高楠順次郎と常磐井堯猷

明治期以降の仏教の歴史において最も大きな変化の一つは、西洋近代の仏教学が導入されたことである。宗派の学僧による教義の研鑽を中心とする伝統的な仏教理解とは明らかに異質な、西洋的な学術ないし思想としての仏教が、日本人のあいだにも広がっていったのだ。その新しい仏教を導いたのが高楠順次郎であり、常磐井堯猷もまたこの動きを後押しした。西洋の仏教との出会いは何をもちたか、その内実を考える。

8/5 (水)

栗原 廣海先生

真宗高田派 栗昌山 誓元寺住職  
真宗高田派 鑑学 高田短期大学名誉教授



### 仏教文化講座

### 100年の歴史と今後の展望

真宗高田派の夏の風物詩「真宗高田派仏教文化講座」は、今年で記念すべき第100回を迎えることになりました。この講座は、大正15年(1926)、高田派第22世堯猷上人が、「派内僧侶の教育機関且又仏教研究機関」(「第一回仏教文化講座訓示」より)として、夏安居を継承するかたちで開講された講座です。当初は、後に東京帝大教授となられるパーリ学者、長井真琴氏が主監をつとめ、上人自らも講師としてサンスクリット文学やインド哲学・仏教学を講じられました。爾来百年、その歩みを振り返り、講座の意義を再確認するとともに、将来への展望を探りたいと思います。